

ずいそう

継続は…力かな？

屋 宜 伸 行



働き始めてかなりの歳月が経過していますが、「俺って、こんなんでエエのかなあ？」「あんまり考えない方がええなあ」ということを一人になると考えることがあります。

特に、単身赴任で過ごした最近の4年間は、初めての土地のこともあり「探検」と称して夜な夜な見知らぬ扉を開けて「失敗」「今日は当たり！」と、スリルとサスペンスに満ち溢れた生活を送っていました。

しかし、それも資金調達の問題で毎夜毎夜という訳にはいきません。資金には限度あり。じゃ？ 自分にとって一番の楽しみって？ それ？ していると時間の経過も忘れて？

そう！ やっぱり音楽しかないのかなあと…「それやねん」と自分自身を納得させ。

ちょうどそのころ、大阪の家も「引越し」という時期のため、「ジャマ物は排除」というお達し？ があり渋々ギター6本、ウクレレ1本、キーボード、録音機材（通称MTR）を単身赴任先に移動し「コレやなあ」。

中学のとき、8歳年上の兄より「このギターやるわ、ここがドヤ」「ふ～ん」という初心者向けギター講座を受講。

以後、ずっとギター弾いているとバンド活動でお金を稼げるということも覚えてしまい、親からは「頼むから堅い仕事」するよう言われ現在の仕事です。といっても、なかなか縁の切れないのがバンド活動で、会社でバンドをつくり社外でもバンド活動、ご近所の奥様たちとコンテストに出場し賞を頂きましたが以降は孤独なギタリスト？！

そんな単身赴任2年目、兄から連絡があり「暇な休日あったら、一緒にボランティア活動せーへんかあ？」と。

内容は、デイサービスセンターで来られた老人と一緒に歌を歌い、ギター伴奏をしてほしい。場合によっては、兄弟デュオ。

半信半疑でまずは参加。

場所は、滋賀県湖東にあるデイサービスセンター。兄の紹介が「さーて、どちらが兄でしょう？」ザワザワ「頭ハゲた方が弟です」

ワッハッハ～ 緊張緩和のギャグ！

歌といっても文部省唱歌中心で、♪さくらさくら♪富士山♪美しき天然♪青い山脈♪りんごの唄♪などギタリスト気取りの私には無縁の曲。中でも、70～80歳世代にとって一番の人気曲は「仰げば尊し」。涙す

る老人多数で、リクエストも多い歌なのです。

「ギター弾いて誰かが喜んでくれている」ということで、月1回の活動をしています。

単身赴任先での夜、こんな話を外国人パブですると「お店でやってよ」ということで「外国人パブ嬢の伴奏」「お客さんの生演奏オケ」という場違いボランティアもありました。

これが縁で、昨年のデイサービスセンターの忘年会には、外国人パブ嬢ゲスト出演「暑い国の熱い歌」を披露すると、老人たちは笑顔と喝采で大喜び。文部省唱歌？ 何やったん？

英語の歌中心で、意味不明でも熱い視線を感じ昔を思い出したのかお爺ちゃんは立ち上がりダンス!? 手拍子・合いの手などノリにノッてるっていう感じで、職員の皆様も笑顔で今までにない素晴らしい光景でした。

「チークダンスできる歌」とリクエストあり「ベサメ・ムーチョ」を外国人パブ嬢は艶っぽく歌い上げ（お仕事上、慣れてらっしゃる）、兄はお婆ちゃんとチークダンスで最高潮!!

老人代表からは、「わざわざ遠い国から来ていただきありがとうございます」とのコメント。

いくつになっても艶っぽいコトには興味津々で、テレながらも自分を出せることができる環境を持ちたいものであり、作ってあげたいものでもあります。

しかし、老人たちは楽しく過ごしたことも自宅に戻るところには記憶がなく、嬉しさを伝える相手もないのが現実だそうです。

だから、せめてこのひと時だけは、「手拍子つけて口を大きくあけてみんなで楽しく歌いましょう」という兄のオープニングから約1時間半のステージを行っています。

最近「あのハゲた方が、弟」と、覚えており「遠い国の娘さんはいつ来る？」と催促もあります。「お盆かな？ ヒコーキ代は？」

ギター弾いて、ヘタでも40数年。

ステージ変われど、ギターを弾いて見知らぬ誰かが喜んでくれるなんて嬉しくなります。

ひとときでも若返り、和みます。

本当は、「継続は『愛』なり」ですネ！